

「野生生物と社会」学会第 28 回大会・筑波大学自然保護寄附講座共催シンポジウム

「ネイチャー・ポジティブを地域にどう落とし込むか？」

～生物多様性地域戦略と多様なパートナーの参加～

生物多様性条約 COP15 では、2030 年には生物多様性の減少を反転させ、2050 年には元のレベルまで戻すというネイチャーポジティブを含む生物多様性枠組が採択されました。日本政府は、このネイチャーポジティブを掲げた生物多様性国家戦略を閣議決定しましたが、この目標を実現するためには自治体レベルでネイチャーポジティブを実現することが重要です。生物多様性地域戦略の策定に取り組むつくば市において、ネイチャーポジティブをいかにして、地域の課題とすることができるかを考えます。

日時：2023 年 12 月 2 日（土）14:30～17:00

場所：筑波大学中地区第二エリア 2H 棟 101

パネリスト：

道家哲平 国際自然保護連合日本委員会事務局長・日本自然保護協会保護教育部
石濱史子 国立環境研究所主幹研究員・つくば市生物多様性地域戦略策定懇話会委員
上條隆志 筑波大学生命環境系教授・つくば市生物多様性地域戦略策定懇話会座長
千田智之 つくば市環境保全課環境管理係長
このほか、地元団体からのパネリストが参加予定

司会：吉田正人